

超プライベートレッスン ピアニスト 今西泰彦先生



Oct.(10月)

Nov.(11月)

Dec.(12月)



Instagram: yasuhikoimanishi

レッスンの様子

Instagramにて動画閲覧

可能です。ぜひご覧ください。

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

各コンクールへ向けて
ピアニストレッスンを
始めよう♪



目を養おう。

最も大切なことは自分の音楽に出逢うこと。

耳を育てよう。

色々な答えの出し方を知り、自分の答えに反映していこう。

自分の個性を知ろう。

芸術は正しいかどうかよりも自分がどう感じたかが大切だ。

日時：2023年

10月12日(木) 13日(金)・11月2日(木) 21日(火)・12月12日(火) 19日(火)

※土曜・日曜・祝日は18時までのレッスンになります。

会場：カワイ浜松

対象：音楽がお好きな方ならどなたでも。

小学生から中学生レッスン希望者多いです。

ご自分の音楽の幅を広げたい方ならどなたでも。

ピアノ講師様本人 ピアノレスナー様本人

使用ピアノ：シゲルカワイグランドピアノ

※録音・撮影はご遠慮ください。

受講料

60分 15,000円

30分 7,500円

駅南留学

場所はココ↓



お申込み先/カワイ浜松 浜松市中区砂山町355-4

TEL: 053-455-0638 FAX: 053-458-9491

E-mail hamamatsu@piano.kawai.co.jp

プライベートレッスン申込書

お名前		保護者名	
ご住所		先生のお名前	
TEL/FAX	()	希望時間	60分 30分 *○印
日時	10/12・10/13・11/2・11/21・12/12・12/19 ○印をお願いします。		
希望曲目		作曲家	

「受け売りの解釈、ではなく自分の音楽を」

他人の録音を聴くことを避け、作曲家と直接向き合うことから生じる自分の感情・感性、反応にインスピレーションを求めてほしい。それこそが真のアーティストである。楽譜の読み方、スタイル、記号化された楽譜に綴じ込めることの出来なかった伝統や作曲家の想い、楽譜の向こう側の汲み取り方、それこそが学ぶべきものである。作曲家＝藝術家の歴史を探究する代わりに、すでに存在する“だれか”による解釈を利用しようとする。近道を使って成功を手に入れようとする、結局のところ、行き詰まり遠回りとなるのにも関わらず。近年、情報社会が進み利便性が高まるほど、多くの解釈者を平均的・標準的なもの、また妙な真新しさを狙った奇抜化されたものが進出している。自然さを持たず、記憶に残らず、感情に触れることはない。

レッスンの場でも特別重要なことはイメージすること。人間が想像力を備えていることを宝物に感じてほしい。一つ一つの音やフレーズの意味やイメージを考える手助けを行う。誰かの演奏を聴いて、“分かったつもり”で演奏するのではなく、自分の知識やイマジネーションで辿り着いた音楽、作曲家と繋がれた感覚を得られたその時こそ音を生み出す真なる喜びを感じることができるのだ。豊かな藝術で満たされ、深みのある精神生活を送る、そうした知識・感性の養分を育てる人たちの肉体や精神から他人に贈られる言葉や行動は、周りに幸福をもたらすもの、それこそが藝術作品の魅力、学ぶ意義なのであろう。

現代社会の抱えるコンクール偏重主義や商業主義の問題に対し、それぞれの立場で大きな虚無感を抱えている方もおられよう。大きな音、派手な表現、スピード感のある演奏、平均的高密度な演奏が良いのではない。意味をしっかりと伝えよう。意味を伝えるための技術を育てよう。“自分の意志”で音楽を創る能力を育てよう。音楽の前では、誠実さ、正直であることがとても大切なのです。

～超プライベートレッスンに寄せて～

2021.11.19

今西泰彦



指導 今西泰彦

「次世代のスタンダード」へ。クラシック界の新時代、あるいは作曲家の生きた時代へ巻き戻そうと未来を切り拓くアーティスト。静岡県浜松市出身。静岡県立浜松北高等学校卒業、東京藝術大学、並びに東京藝術大学大学院器楽科ピアノ専攻終了。渡欧後、イタリア・イモラ国際ピアノアカデミー、パリ、またミュンヘン国立音楽・演劇大学古楽科に於いては古楽奏法の研鑽を積み、伝道者として故郷へ。これまでに、イタリア・テレビ局メディアセットによる中継、ラジオ出演、新聞紙上、また国内のテレビ番組、フジテレビ系『TEPPEN』（2015～）、NHK『純情きらり』（2006）、フジテレビ系『HERO THE TV』（2015）では木村拓哉さん出演のドラマ作品（ロングバケーション）の影響を受けたピアニストとしてご本人の前で生演奏、また、映画『四月は君の嘘』（2016）、TBS系『ごめん、愛してる』（2017）ではピアニスト役の俳優さんの吹き替え等の撮影協力を行っている。2018年には母校・浜松市立荻丘小学校へ向けて自身が作詞作曲を手掛けた『大好きなキミへ～永遠の煌めきを胸に～』を寄贈。東京・青山スパイラル・ホールではベートーヴェンの第5交響曲を1台ピアノにて演奏し、コンテンポラリー・ダンス界とのコラボレーションを果たす。2019年にはパッハ、モーツァルト、ショパンのピアノ協奏曲を弾き振りにて、また2019年9月～2020年3月に於いてはベートーヴェン・32ピアノソナタ全曲演奏会を完結させた。育成の分野に於いても、2018年より『超プライベートレッスン』を浜松を中心に静岡、富士、沼津、三島、横浜、東京など各地にて順次開講中。ソリストとして、また教育者として「浜松こそ音楽を、浜松でも教育を」をテーマに今もまた常に進化が止まることはない、多方面より注目を浴び続ける社会派ピアニストである。